

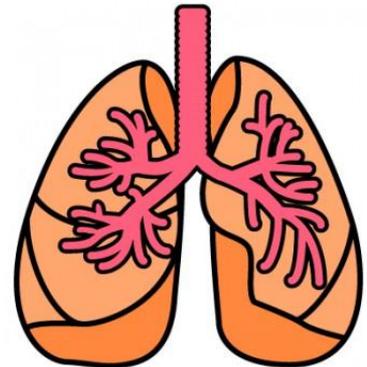
# 肺癌登録合同委員会による 全国肺癌登録事業について

## 肺癌登録合同委員会

澤端章好、浅村尚生、藤井義敬、吉野一郎、  
秋田弘俊、中西洋一、江口研二、多田弘人、  
小林英夫、宮岡悦良、奥村明之進、横井香平

# 目次

- 本邦の癌登録について
- 肺癌登録合同委員会の業務とその成果
- 全国肺癌登録事業と国際的病期分類とのかかわり



# 本邦の肺がん登録について

1. 院内がん登録
  - ・ がん診療連携拠点病院
2. 地域がん登録
  - ・ 各都道府県
3. 臓器別がん登録
  - ・ 学会修練認定施設
    1. 日本肺癌学会
    2. 日本呼吸器外科学会
    3. 日本呼吸器学会
    4. 日本呼吸器内視鏡学会

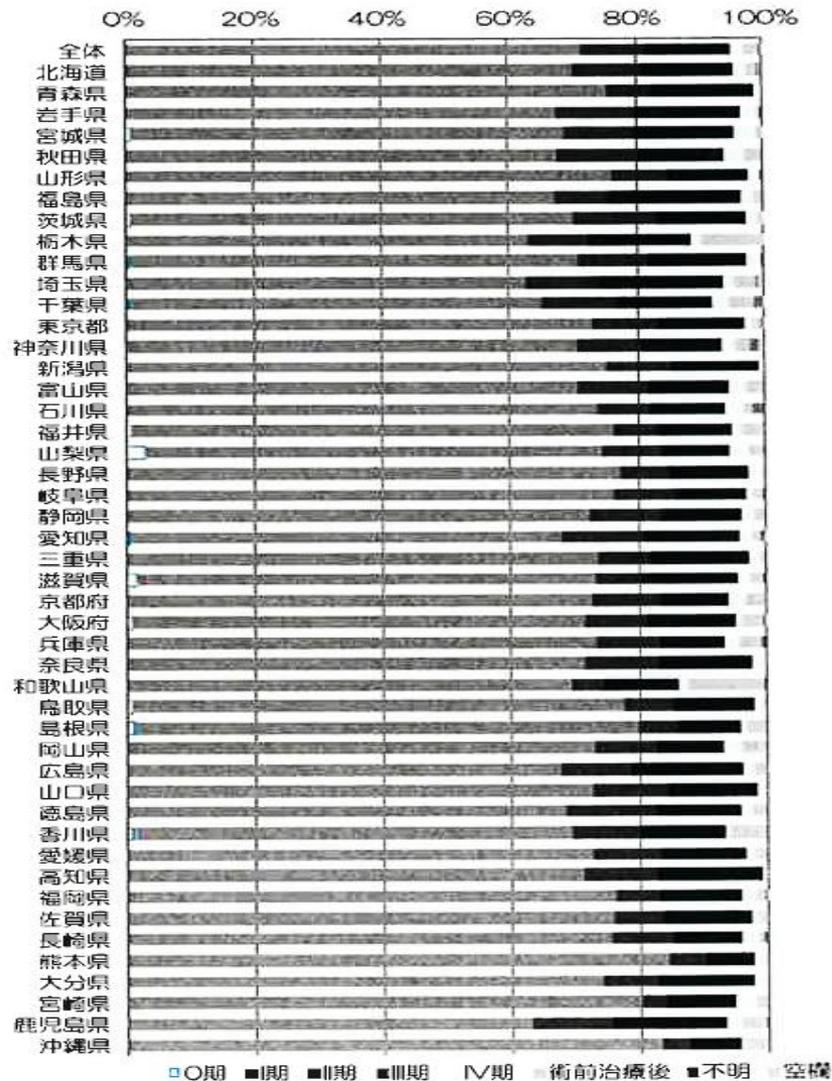
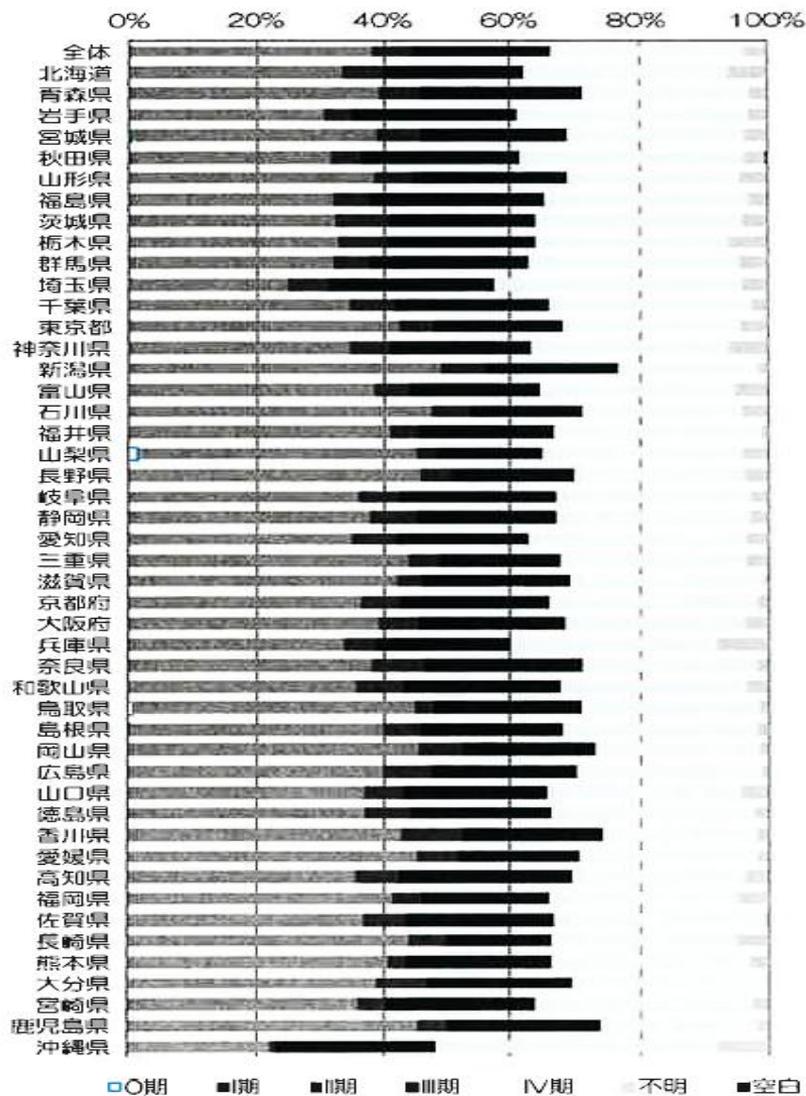
国立がん研究センター、  
がん対策情報センターに  
て収集、集計、発信

院内がん登録では、既存  
のTNMでの解析

#### 4. 肺

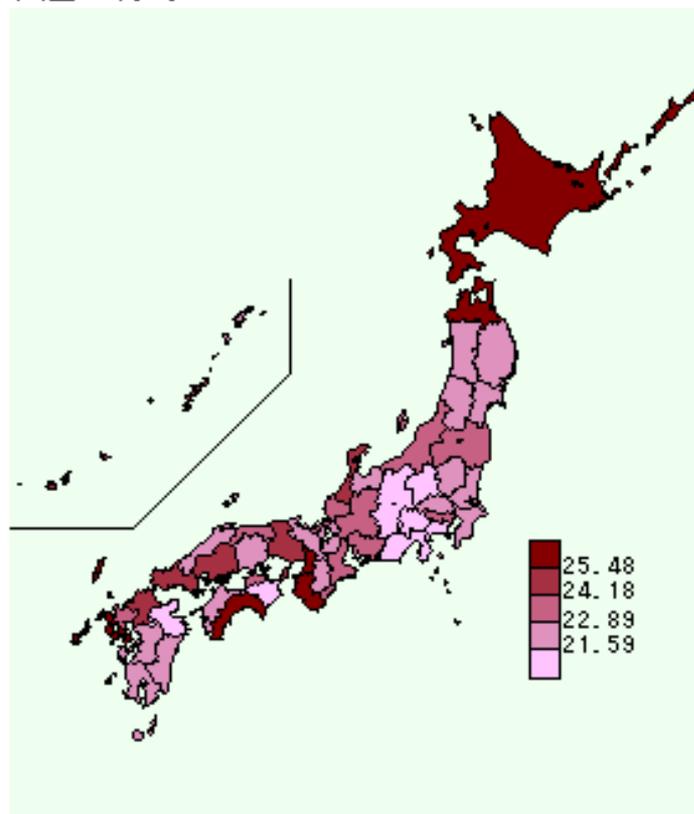
登録数	症例区分 2,3	治療前ステージ集計対象数	術後病理学的ステージ集計対象数
55,344	45,702	45,534	19,476

(治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、41 ページを参照)



都道府県別75歳未満年齢調整死亡率  
(男性)  
[肺 2009年]

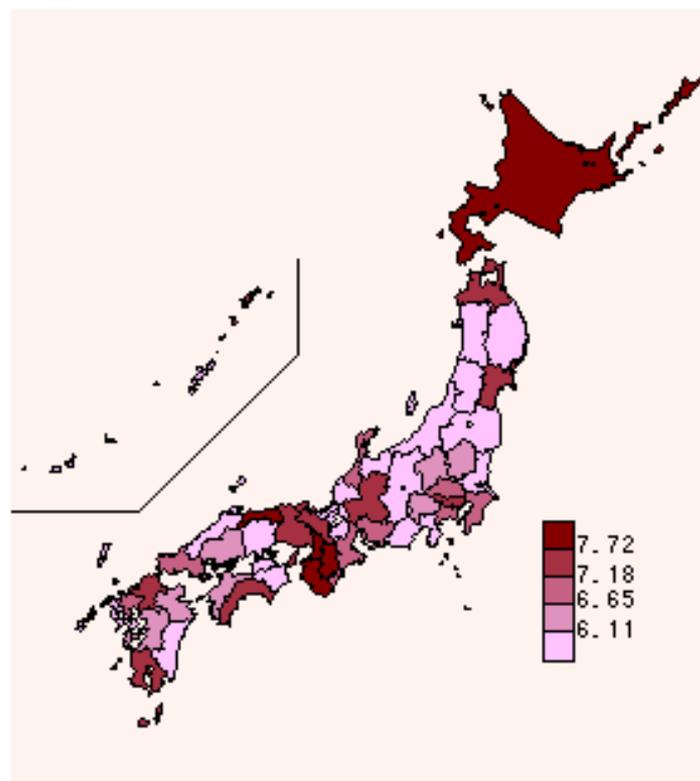
人口10万対



資料: 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター  
Source: Center for Cancer Control and Information Services,  
National Cancer Center, Japan

都道府県別75歳未満年齢調整死亡率  
(女性)  
[肺 2009年]

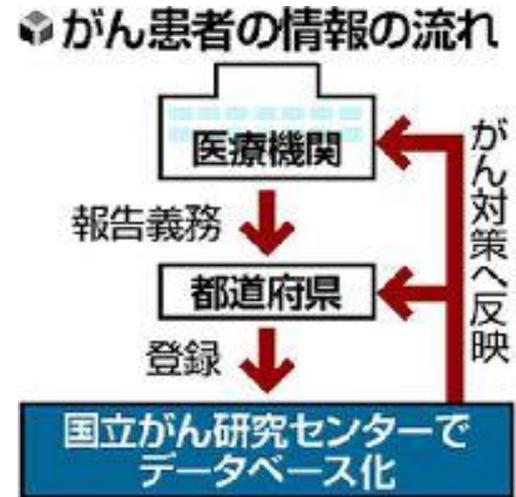
人口10万対



資料: 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター  
Source: Center for Cancer Control and Information Services,  
National Cancer Center, Japan

# がん患者情報を集約...自公民「登録整備法」原案

- 全ての病院にがん患者に関する情報提供を義務づけることが柱。
- 拠点病院などのデータに偏っていたがん情報の全てを収集し、治療や薬の開発に役立てることが狙い。



- 原案
  - 診断を行った全病院が患者の名前や生年月日に加え、がんの部位や治療法などを各都道府県に報告する
  - 各都道府県は国立がん研究センター(東京都)のデータベース(DB)に登録する—などの内容。
  - 各医療機関がコンピューター上で入力できるシステムも作り、全ケースの把握を目指す。

• (2013年2月21日 読売新聞)

# 本邦の肺がん登録について

1. 院内がん登録
  - ・ がん診療連携拠点病院
2. 地域がん登録
  - ・ 各都道府県
3. 臓器別がん登録
  - ・ 学会修練認定施設
    1. 日本肺癌学会
    2. 日本呼吸器外科学会
    3. 日本呼吸器学会
    4. 日本呼吸器内視鏡学会

国立がん研究センター、  
がん対策情報センターにて  
収集、集計、発信

院内がん登録では、既存  
のTNMでの解析



肺癌登録合同委員会にて  
収集、集計、解析、学  
会発表、論文発表

新規TNMのための  
新たなパラメータを更新

# 肺癌登録合同委員会と肺癌登録事業

## 4学会合同の事業

- 1) 日本肺癌学会、2) 日本呼吸器外科学会、3) 日本呼吸器学会、4) 日本呼吸器内視鏡学会

事務局：杏林大学 呼吸器外科 → 大阪大学 呼吸器外科

## これまでの事業

第1次(1994年): 1989年外科症例の後ろ向き登録 3,643例

第2次(1999年): 1994年外科症例の後ろ向き登録 7,408例

第3次(2002年): 2002年外科・内科症例の前向き登録 14,925例

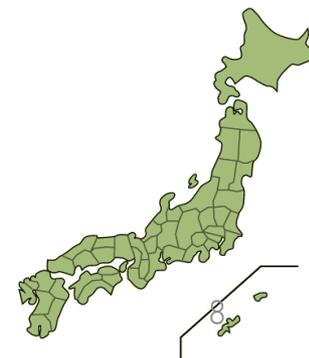
第4次(2005年): 1999年外科症例の後ろ向き登録 13,310例

第5次(2010年): 2004年外科症例の後ろ向き登録 11,663例

## 今後の事業予定

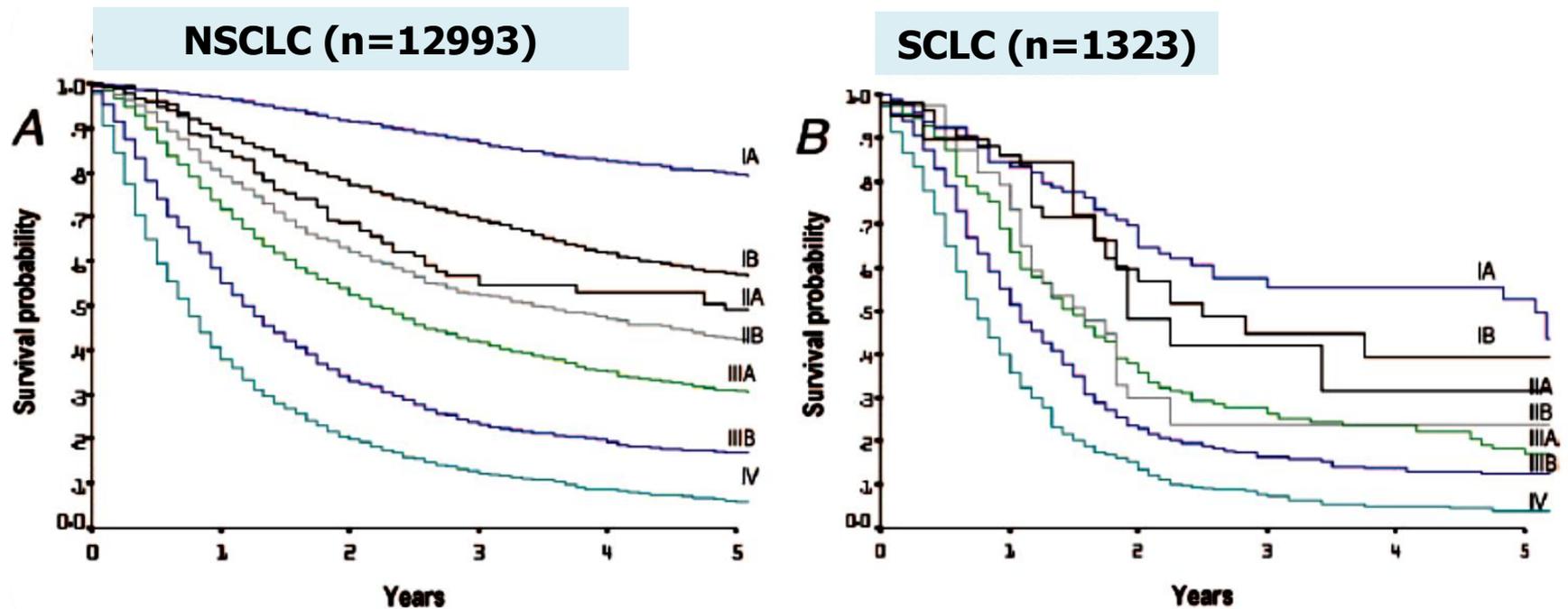
第6次(2012年): 内科症例前向き登録

第7次(2016年): 2010年外科症例の後ろ向き登録



# Japanese Lung Cancer Registry Study

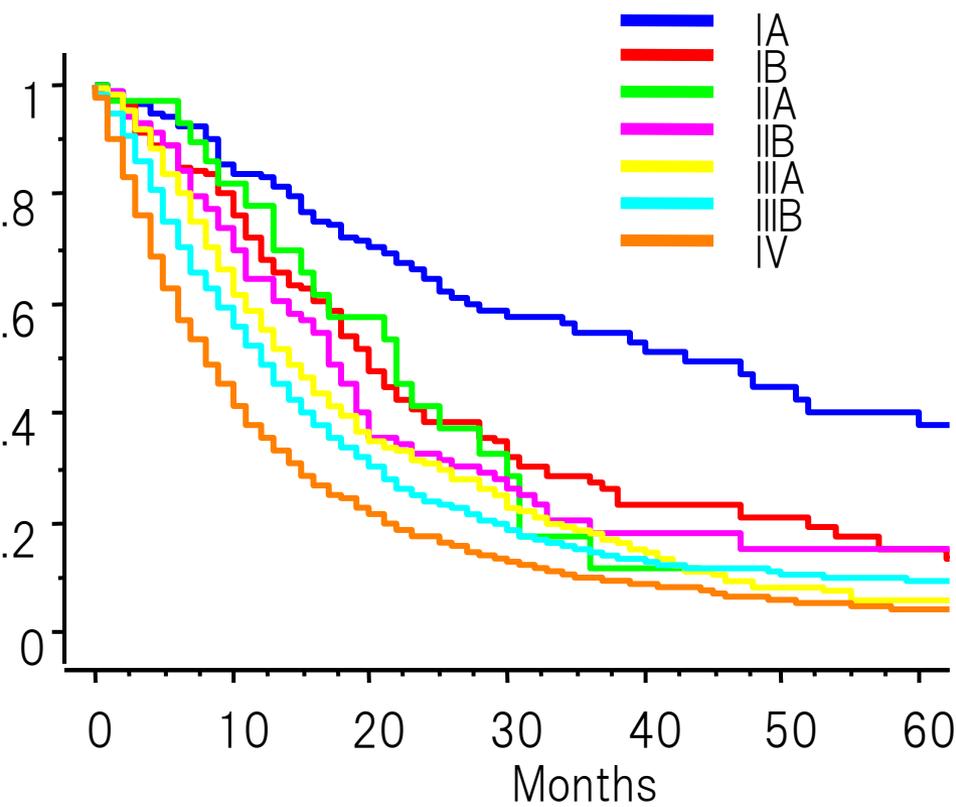
*First Prospective Enrollment of a Large Number of Surgical and Nonsurgical Cases in 2002*



Independent prognostic factor

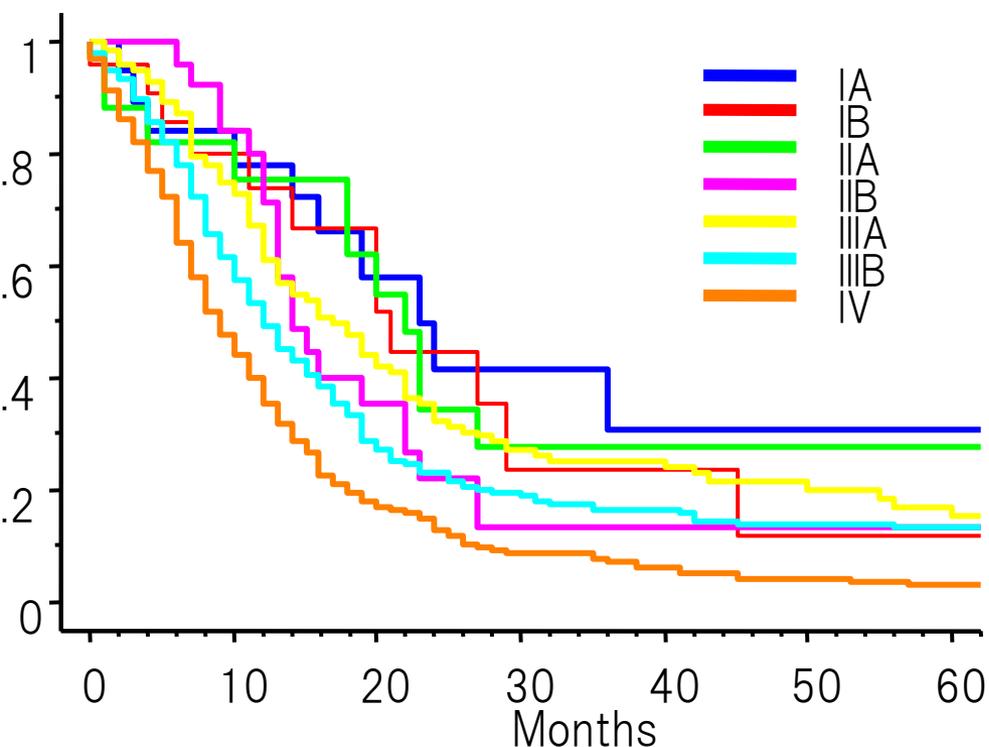
- c-stage, gender, histology, treatment, PS, surgery

# 本邦の2002年非小細胞肺癌内科症例



C-stage	n	5-YSR (%)
IA	150 (3.5%)	41
IB	179 (4.0%)	16
IIA	34 (0.8%)	11
IIB	156 (3.5%)	16
IIIA	519 (11.7%)	7
IIIB	1270 (25.3%)	9
IV	2144 (48.1%)	4
total	4452 (100%)	5

# 本邦の2002年小細胞肺癌内科症例



C-stage	n	5-YSR (%)
IA	10 (0.9%)	32
IB	12 (1.1%)	18
IIA	11 (1.0%)	30
IIB	20 (1.8%)	16
IIIA	126 (11.5%)	17
IIIB	356 (32.7%)	16
IV	533 (49.0%)	5
total	1088 (100%)	5

第3次全国肺癌登録事業より Not published data

# 肺癌登録合同委員会と肺癌登録事業

## 4学会合同の事業

- 1) 日本肺癌学会、2) 日本呼吸器外科学会、3) 日本呼吸器学会、4) 日本呼吸器内視鏡学会

事務局：杏林大学 呼吸器外科 → 大阪大学 呼吸器外科

## これまでの事業

第1次(1994年): 1989年外科症例の後ろ向き登録 3,643例

第2次(1999年): 1994年外科症例の後ろ向き登録 7,408例

第3次(2002年): 2002年外科・内科症例の前向き登録 14,925例

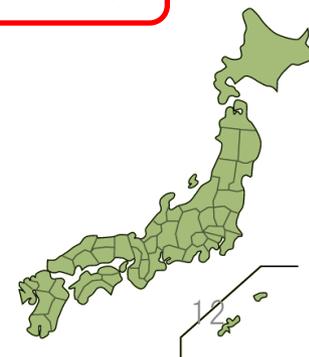
第4次(2005年): 1999年外科症例の後ろ向き登録 13,310例

第5次(2010年): 2004年外科症例の後ろ向き登録 11,663例

## 今後の事業予定

第6次(2012年): 内科症例前向き登録

第7次(2016年): 2010年外科症例の後ろ向き登録



# 第5次全国肺癌登録事業HQ

- 委員長 : 横井香平
- 前委員長 : 藤井義敬
- 委員 : 浅村尚生, 藤井義敬, 野守裕明, 中西洋一, 江口研二, 森雅樹, 宮岡悦良, 奥村明之進,
- 事務局長 : 奥村明之進
- 事務局 : 澤端章好
- 作業部会
  - 委員長 : 浅村尚生
  - 委員 : 谷田達男, 岡田守人, 近藤晴彦, 下川恒生, 鈴木勉

# 2004年外科的治療登録;第5次登録事業

## 各施設登録数(登録数上位1位~10位)

1	国立がんセンター中央病院	458
2	国立がんセンター東病院	281
3	新潟県立がんセンター新潟病院	228
4	大阪府立成人病センター	179
5	兵庫県立がんセンター	178
6	東京医科大学病院	155
7	大阪市立総合医療センター	147
8	広島市立広島市民病院	146
9	愛知県がんセンター中央病院	145
10	日本赤十字社和歌山医療センター	139

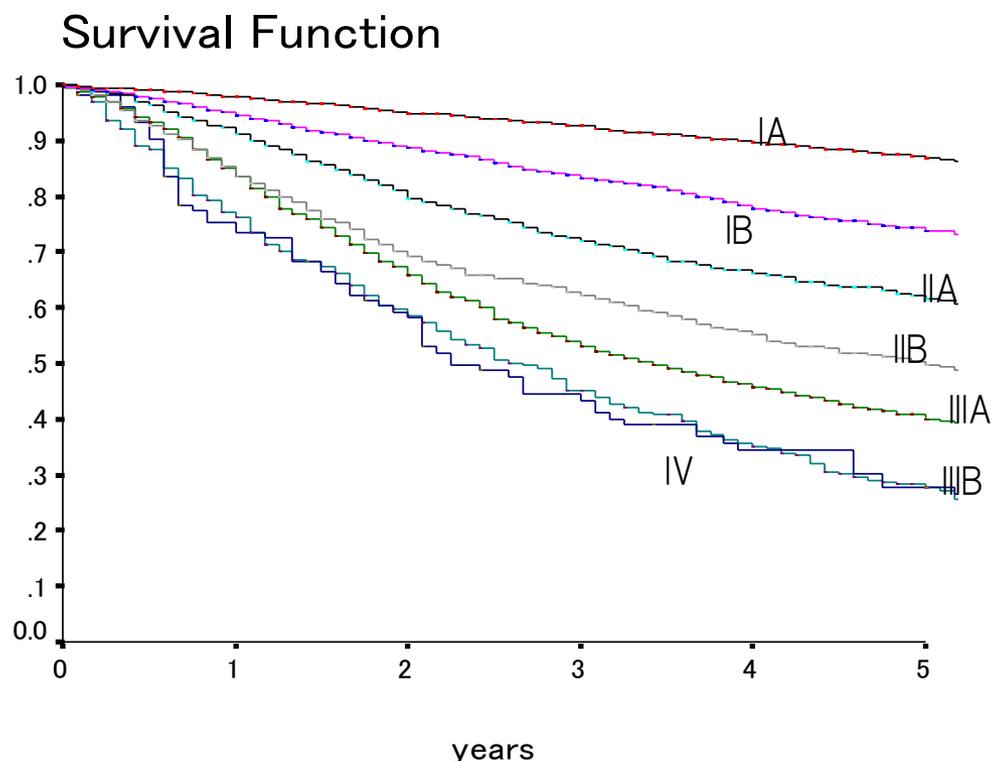
# Japanese Lung Cancer Registry Study of 11,663 Surgical Cases in 2004

## Demographic and Prognosis Changes Over Decade

*Noriyoshi Sawabata, MD, PhD,\* Etsuo Miyazaki, PhD,† Hideo Asamura, MD, PhD,‡*

*Yoshiaki Nakamishi, MD, PhD,§ Kenji Eguchi, MD, PhD,|| Masaki Mori, MD, PhD,¶*

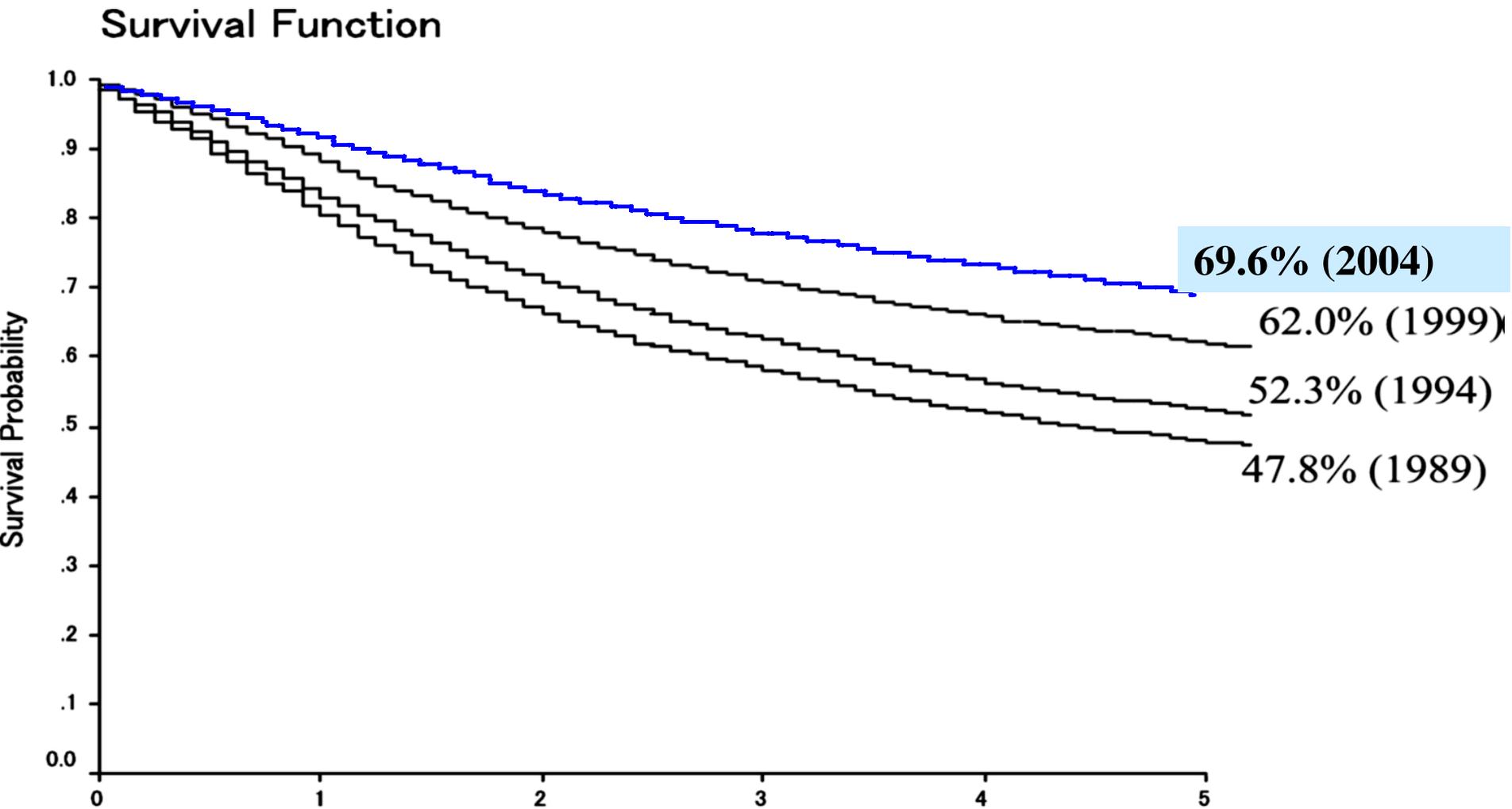
*Hiroaki Nonoyama, MD, PhD,# Yoshitaka Fujii, MD, PhD,\*\* Memoshita Okumura, MD, PhD,\* and Kohji Yokoi, MD, PhD††; for the Japanese Joint Committee for Lung Cancer Registration*



	N	5YSR (%)	Adj. (%)	Rate of relapse (%)
Total		69.6	24.9	19.8
p-stage				
IA	4190	86.8	8.6	12.3
IB	2494	73.9	10.8	27.3
IIA	924	61.6	37.8	40.9
IIB	795	49.8	33.7	50.4
IIIA	1766	40.9	47.2	65.0
IIIB	93	27.8	54.8	83.9
IV	434	27.9	58.3	67.3

# 本邦の肺癌手術症例の変遷

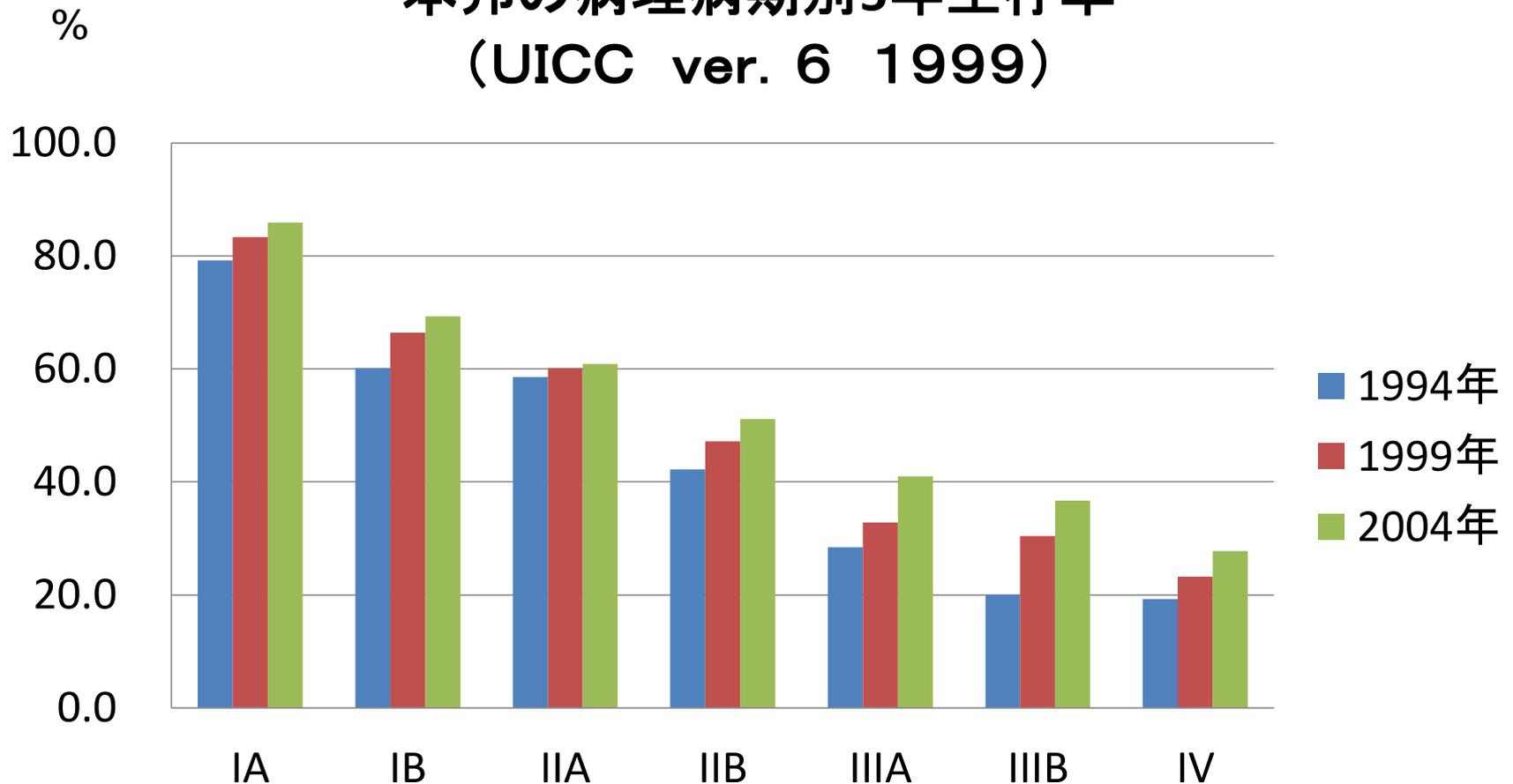
## 全体の生存率が向上



Adapted from Sawabata N et al. J Thorac Oncol. 2011;6: 1229–1235

# 本邦の肺癌手術症例は 各病期すべてで生存率が向上

本邦の病理病期別5年生存率  
(UICC ver. 6 1999)



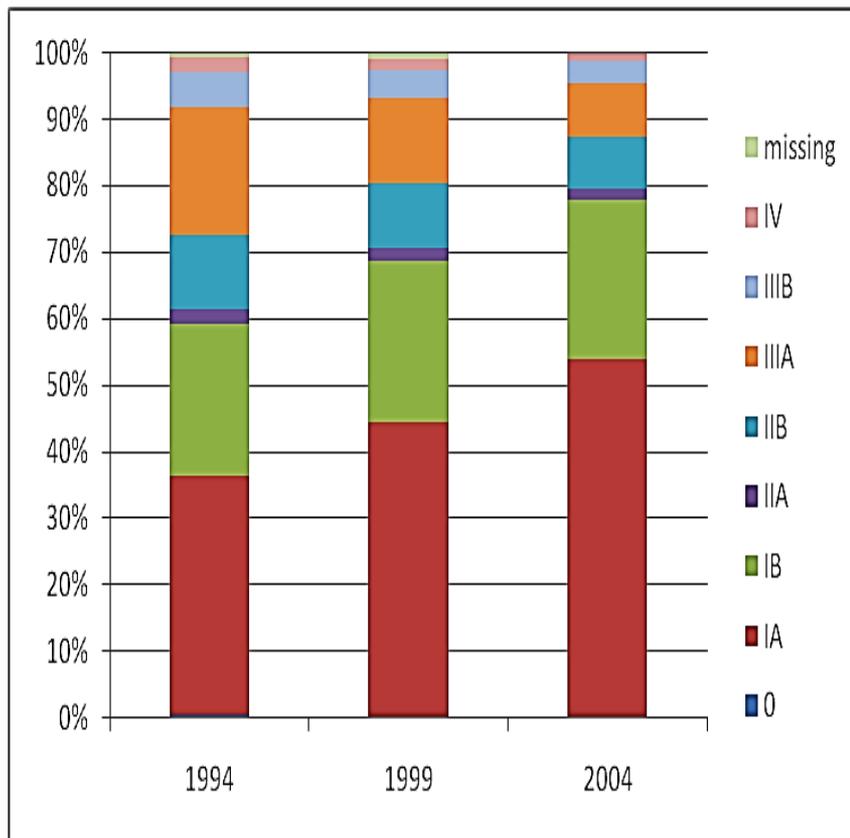
# 肺癌手術例に掛かる背景変化

肺癌登録合同委員会データベースから

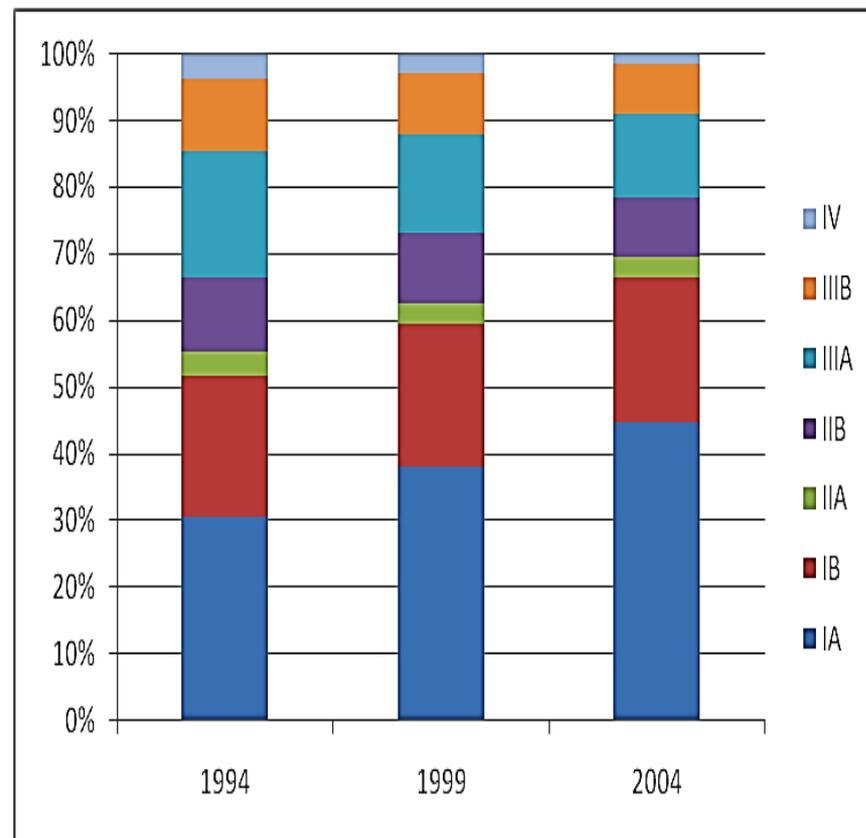
- 非進行肺癌の比率の増加
- 高齢者肺癌の増加
- 小型肺癌の増加
- 女性腺癌の増加
- 完全切除率の増加
- 手術関連死亡率低下
- その他

# 本邦の肺癌外科症例は半数以上が非進行肺癌 でその割合は増加してきている

臨床病期(ver. 6)

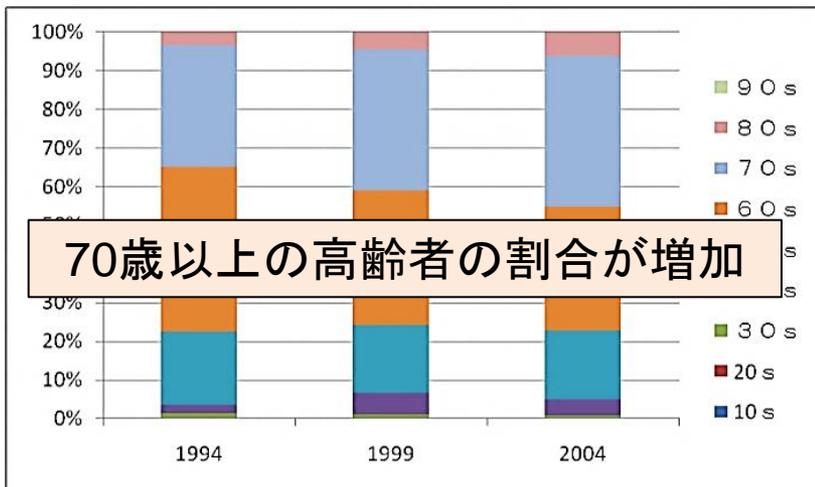


病理病期(ver. 6)

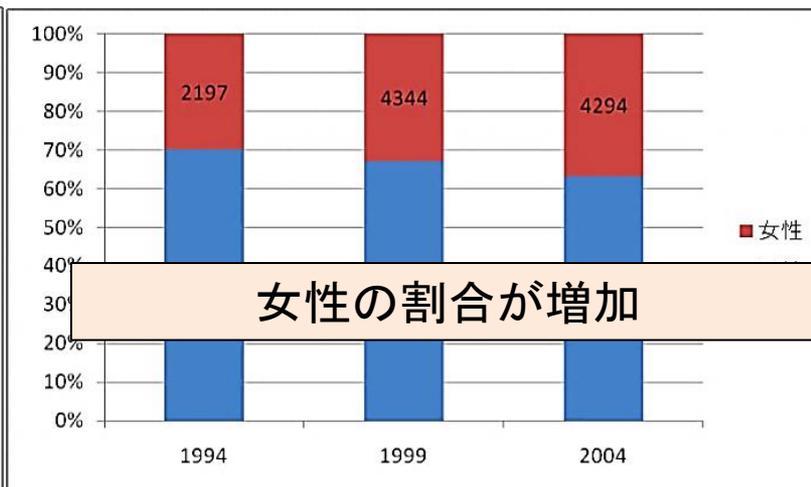


# 本邦の肺癌手術症例の変遷

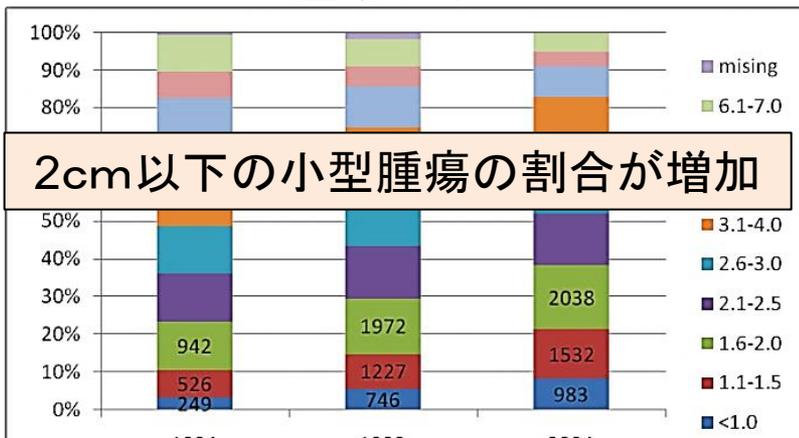
## 年齢



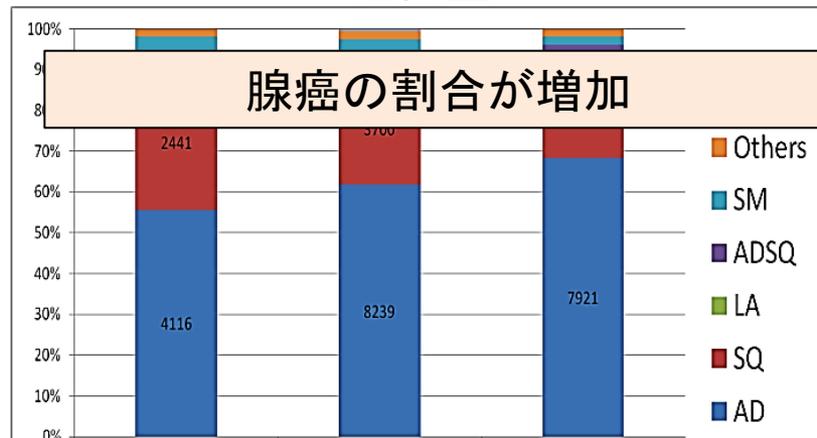
## 性別



## 腫瘍サイズ

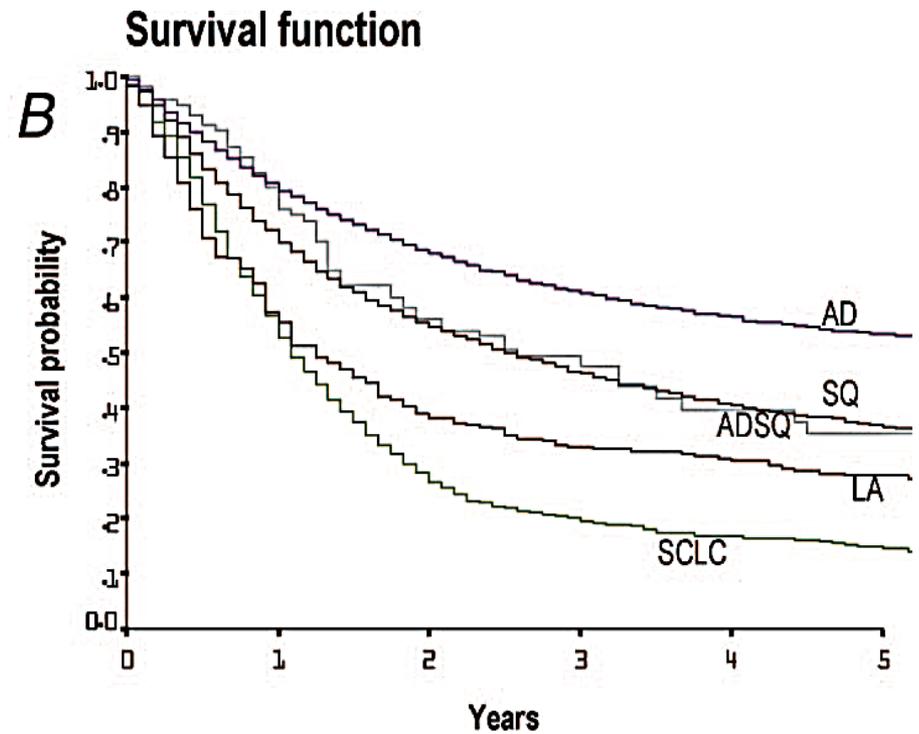
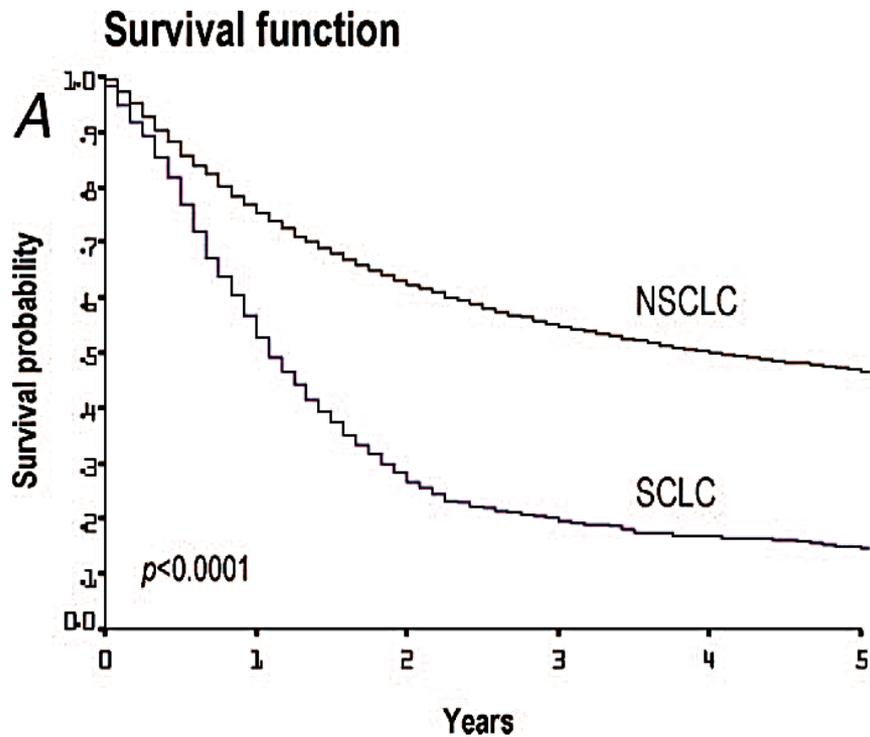


## 組織型

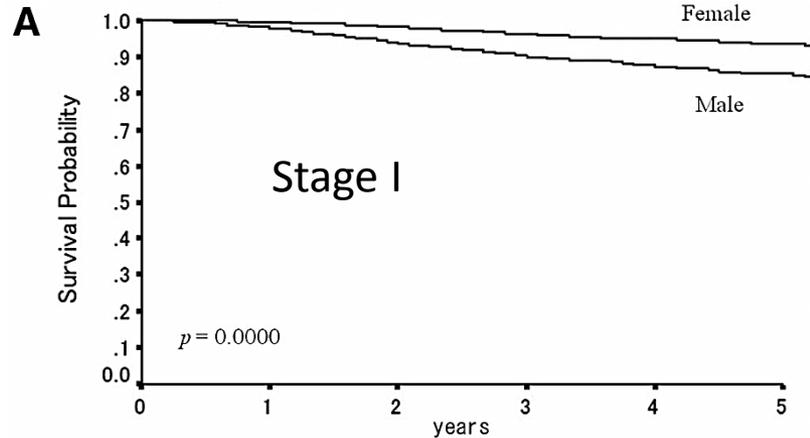
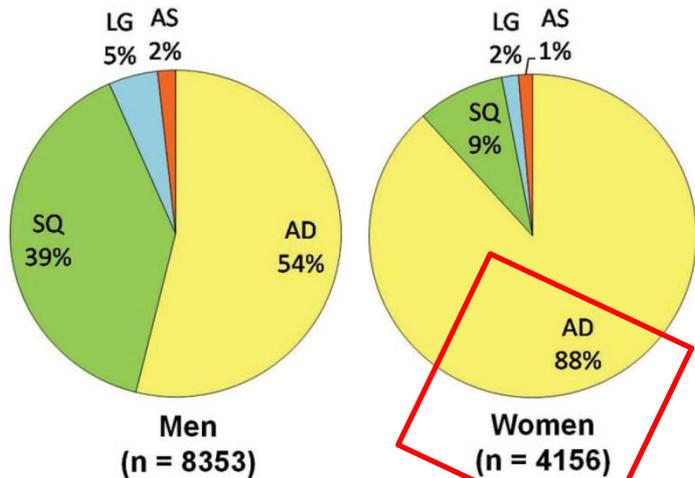


# Japanese Lung Cancer Registry Study

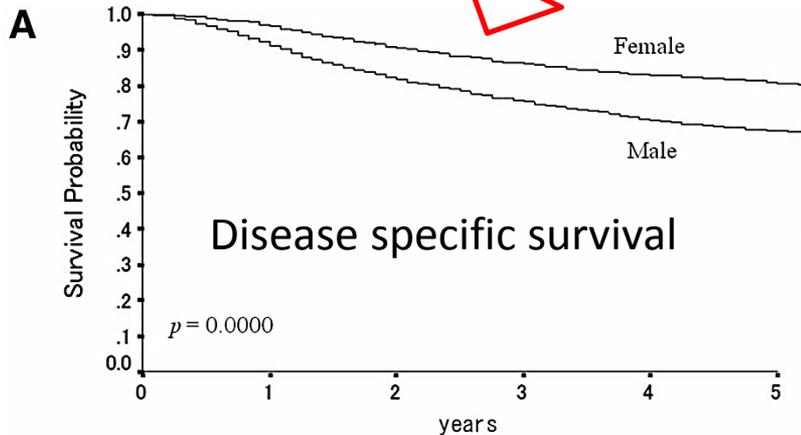
*First Prospective Enrollment of a Large Number of Surgical and Nonsurgical Cases in 2002*



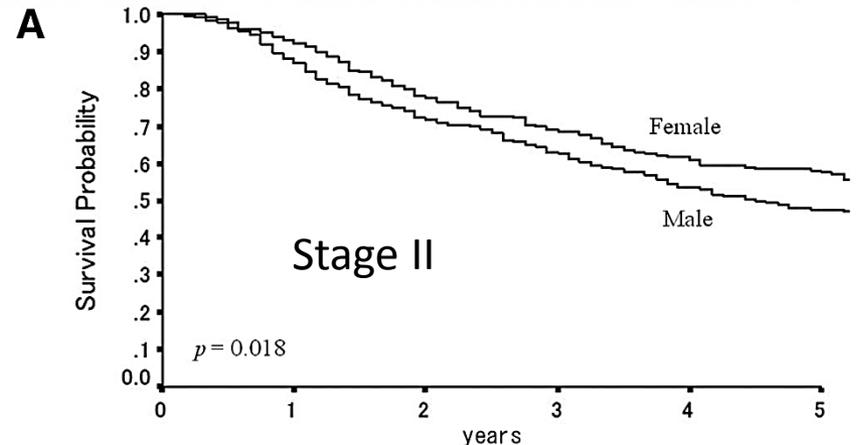
# 女性には腺癌が多く 非進行癌では 良好な予後の予測因子



No. at risk						
Male	2371	2214	2067	1923	1744	1520
Female	2433	2335	2245	2124	1991	1741

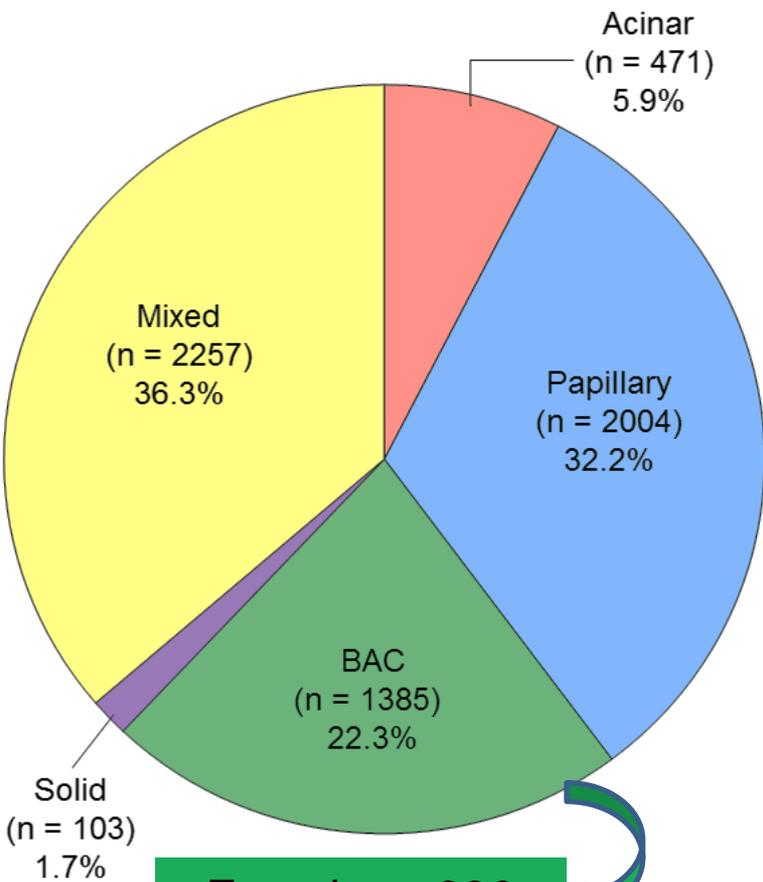


No. at risk						
Male	3976	3435	2981	2648	2311	1968
Female	3469	3216	2929	2658	2431	2101

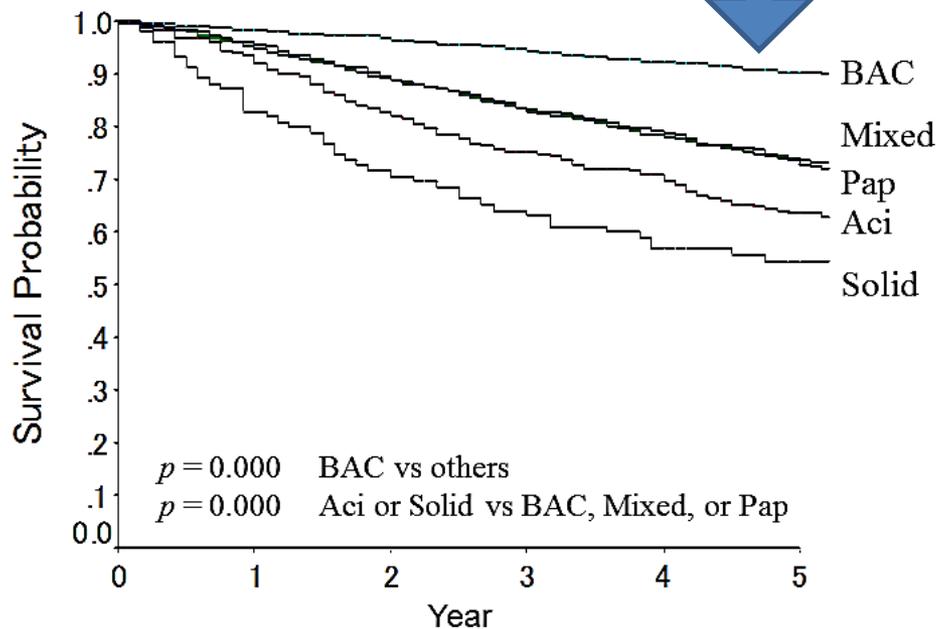


No. at risk						
Male	492	407	323	271	216	167
Female	250	223	182	153	125	106

# Lepidic predominant AD (formarly BAC)の予後非常に良好である



**Female n=836  
(BAC の60%)**



No. at risk	0	1	2	3	4	5
BAC	1385	1321	1269	1220	1131	922
Mixed	2257	2099	1921	1729	1543	1278
Pap	2004	1856	1686	1505	1347	1121
Aci	471	424	363	318	282	223
Solid	103	81	69	60	53	45

# 2004 年肺癌外科切除例の全国集計に関する報告

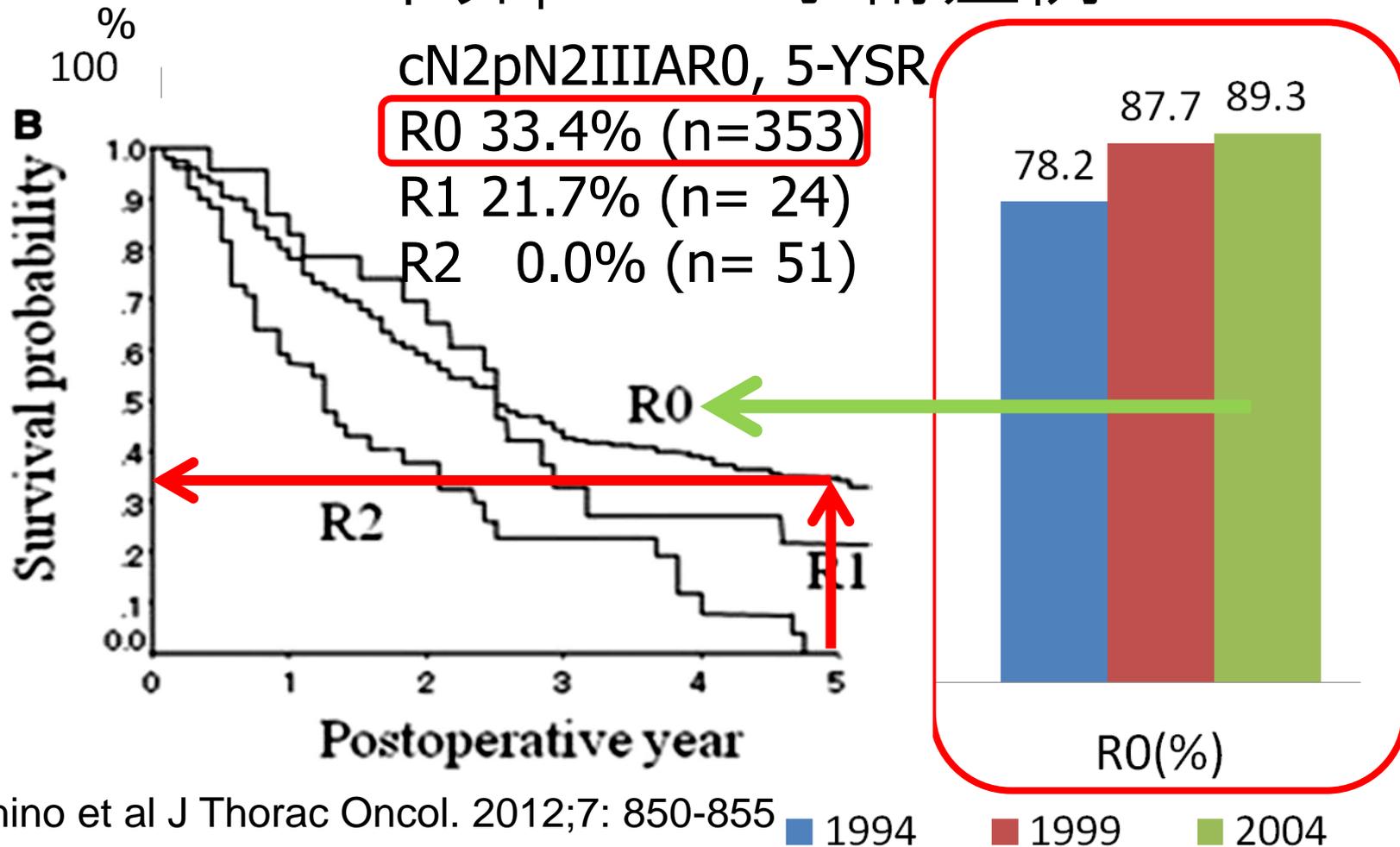
肺癌. 2010;50:875-888

## (17) 遺残腫瘍

	2004		1999	
	n	%	n	%
R0 (遺残なし)	10904	93.5	11844	88.8
R1 (顕微鏡的遺残)	289	5.5	951	7.1
R2 (肉眼的遺残)	349			
RX (判定不能)	121	1.0		
欠損値	0	0.0	549	4.1
合計	11663	100.0	13344	100.0

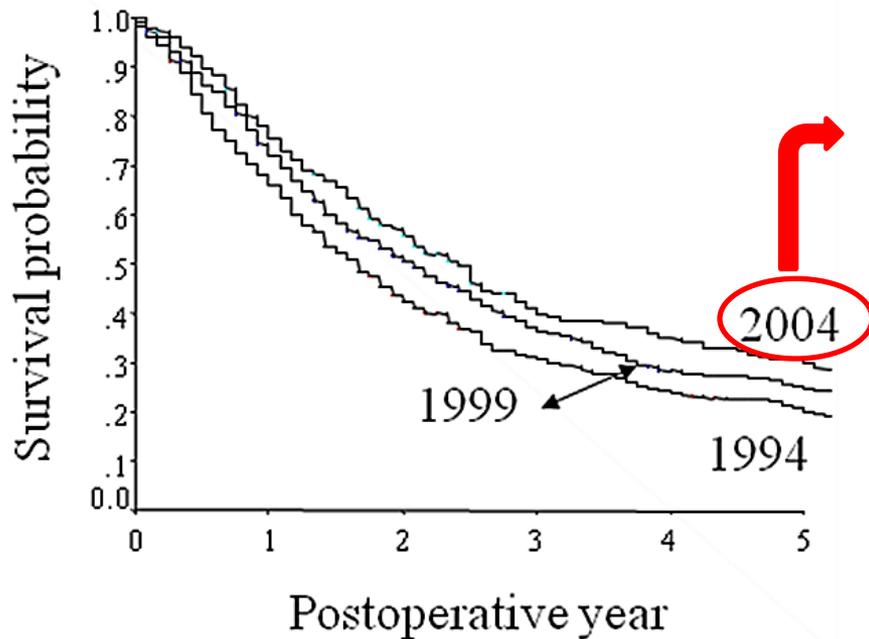
# 肺癌手術完全切除率の変遷

## - 本邦pN2III A手術症例 -



Yoshino et al J Thorac Oncol. 2012;7: 850-855

# Postoperative survival of patients with IIIA-N2 non-small cell lung cancer in Japanese Lung Cancer Registry Study

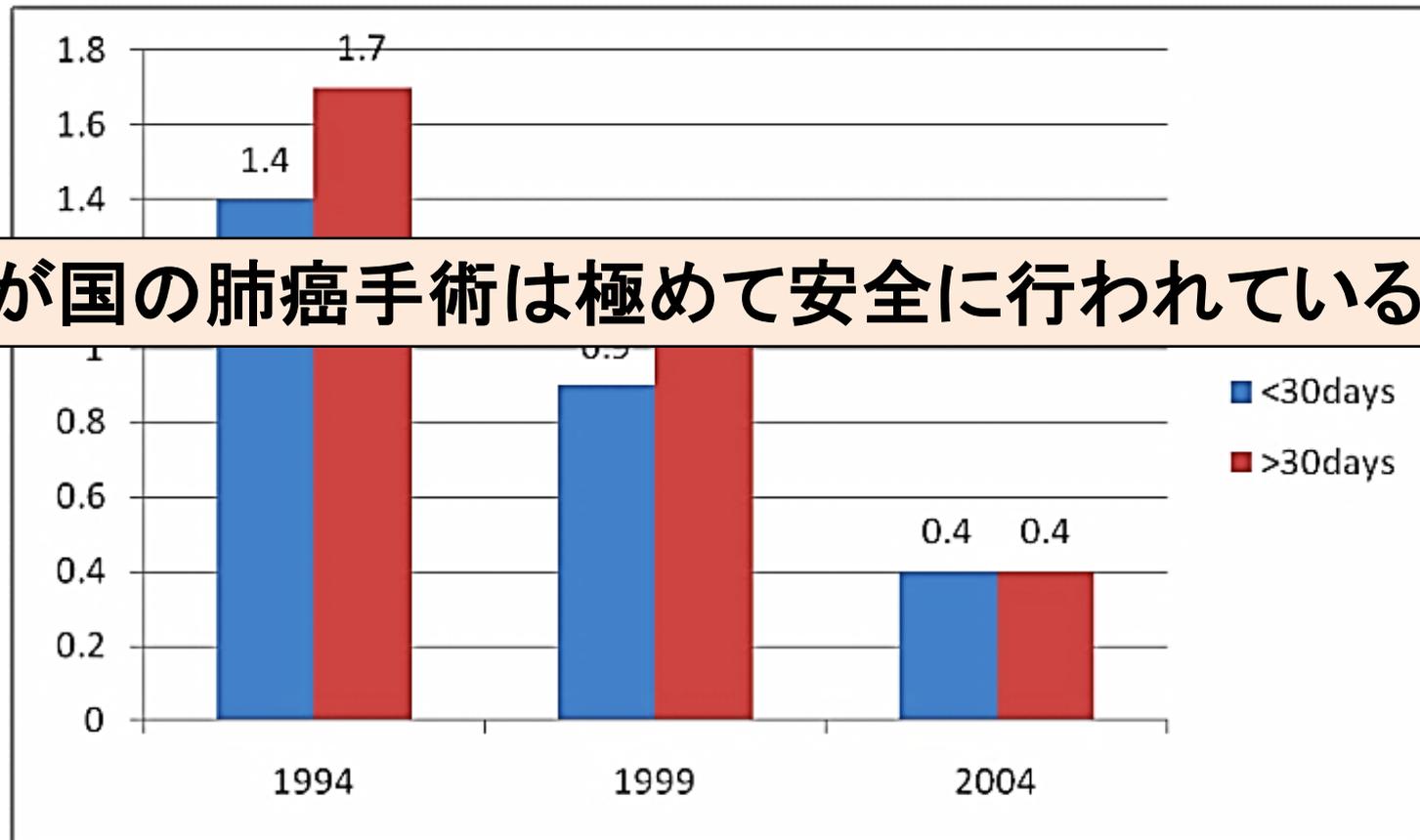


Modality	N	5-YSR (%)
ALL(various)	436	30
Single level	235	36
Multiple level	151	22
Adjuvant C	151	28
Induction C/CR	108	28
Surgery alone	137	34

# Japanese Lung Cancer Registry Study of 11,663 Surgical Cases in 2004

*Demographic and Prognosis Changes Over Decade*

## 術後死亡率の経時的変化



**わが国の肺癌手術は極めて安全に行われている！**

Japanese Lung Cancer Registry Study of 11,663 Surgical

# わが国の肺癌治療のState of the Art

*Demographic and Prognosis Changes Over Decade*

病理病期 (UICC ver.6)	5年生存率 (%)			
	1989年	1994年	1999年	2004年
IA	75.8	79.5	83.9	85.9
IB	59.8	60.1	66.3	69.3
IIA	48.8	59.9	61.0	60.9
IIB	44.2	42.2	47.4	51.1
IIIA	24.6	29.8	32.8	41.0
IIIB	15.3	20.6	29.6	36.7
IV		19.9	23.2	27.8
全体	47.8	52.6	61.8	69.6

# 肺癌登録合同委員会と肺癌登録事業

## 4学会合同の事業

- 1) 日本肺癌学会、2) 日本呼吸器外科学会、3) 日本呼吸器学会、4) 日本呼吸器内視鏡学会

事務局：杏林大学 呼吸器外科 → 大阪大学 呼吸器外科

## これまでの事業

第1次(1994年): 1989年外科症例の後ろ向き登録 3,643例

第2次(1999年): 1994年外科症例の後ろ向き登録 7,408例

第3次(2002年): 2002年外科・内科症例の前向き登録 14,925例

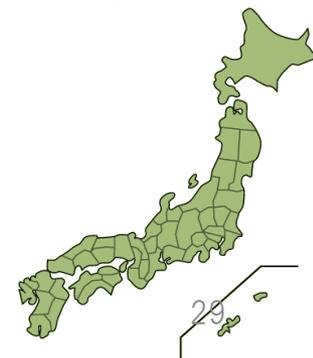
第4次(2005年): 1999年外科症例の後ろ向き登録 13,310例

第5次(2010年): 2004年外科症例の後ろ向き登録 11,663例

## 今後の事業予定

第6次(2012年): 内科症例前向き登録

第7次(2016年): 2010年外科症例の後ろ向き登録



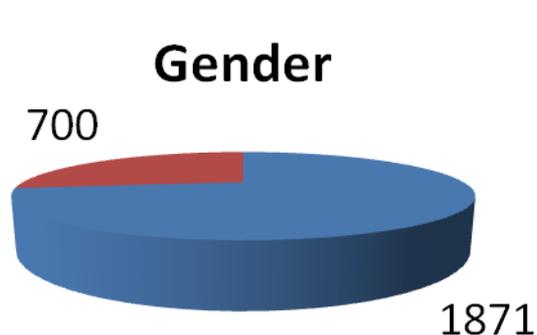
# 第6次全国肺癌登録

## 中間報告

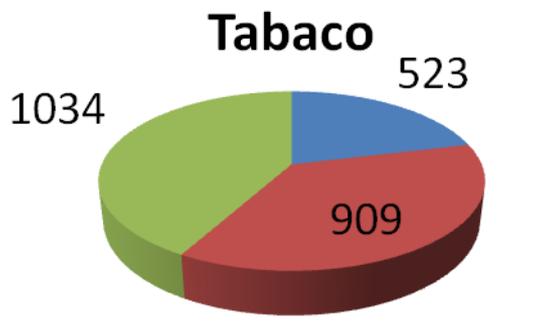
- 参加施設：308呼吸器学会修練認定施設815  
中 38%
- 登録症例数(2013年4月9日)：8604

# 第6次全国肺癌登録 中間集計

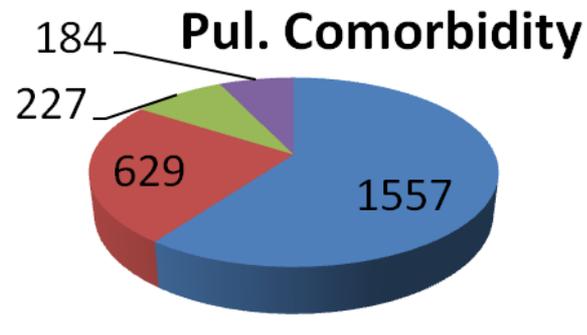
## 2012年 内科症例 基本情報 n=2571



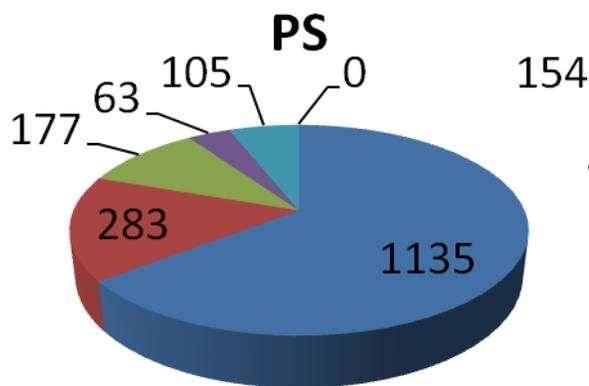
Male Female



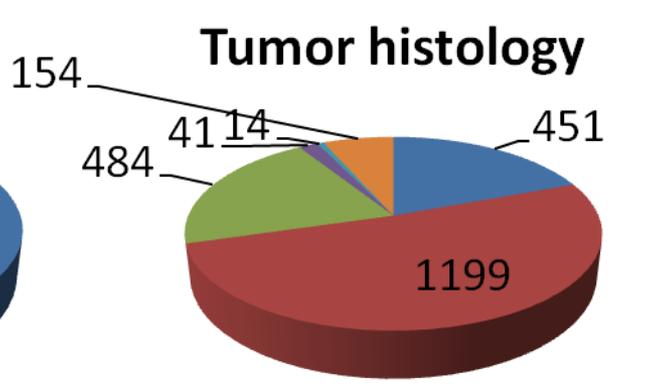
Non Exo Current



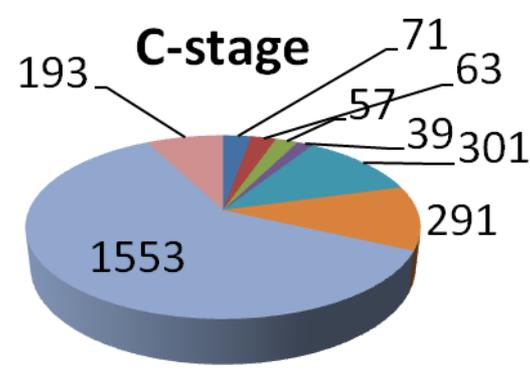
No PE IP Other



0 1 2 3 4 NA



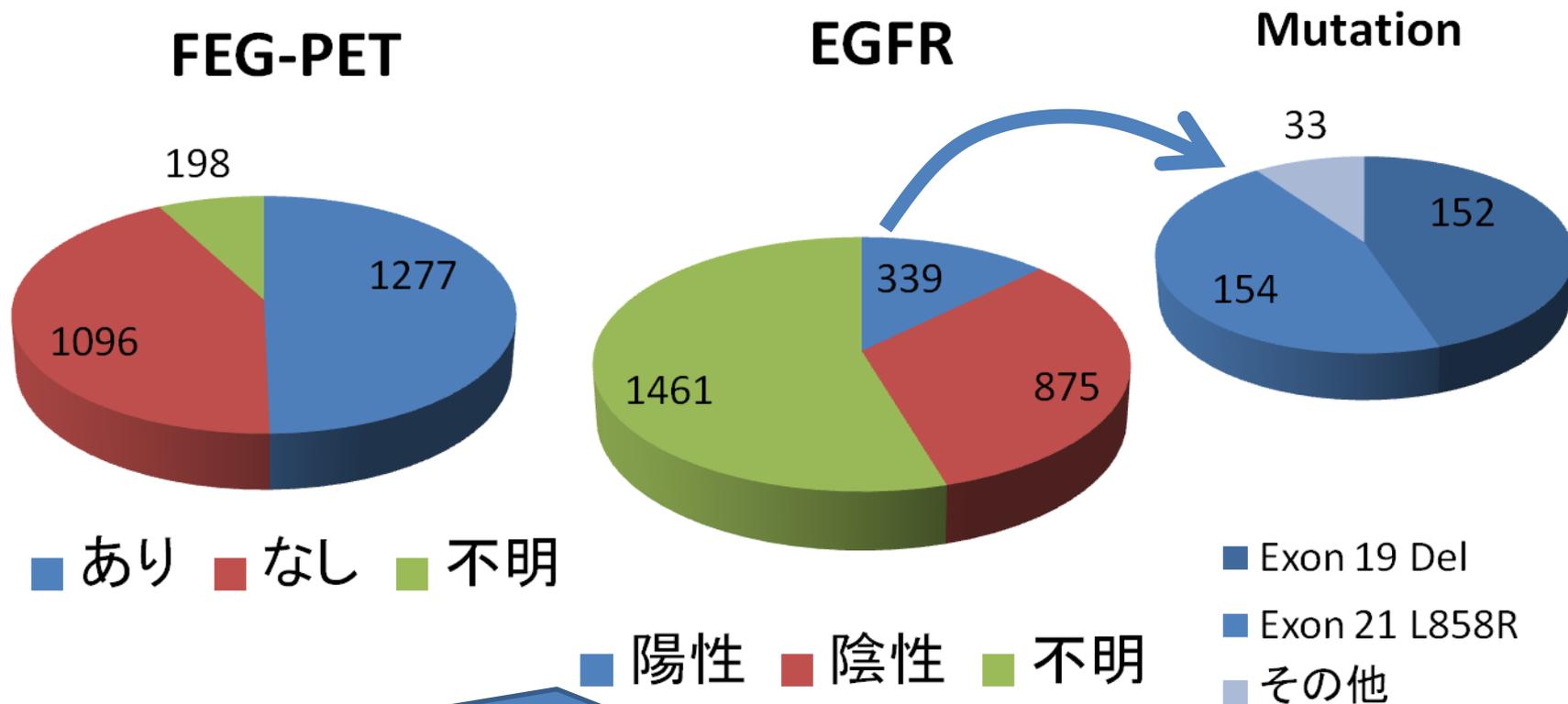
SM AD SQ LA ADSQ Other



IA IB IIA IIB IIIA IIIB IV NA

# 第6次全国肺癌登録 中間集計

## 2012年 内科症例 基本情報 n=2571



AD,305 (90%); F 188 (62%), M117 (38%) F-AD, 55.5%

# 肺癌登録合同委員会と肺癌登録事業

## 4学会合同の事業

1) 日本肺癌学会、2) 日本呼吸器外科学会、3) 日本呼吸器学会、4) 日本呼吸器内視鏡学会

事務局：杏林大学 呼吸器外科 → 大阪大学 呼吸器外科

## これまでの事業

第1次(1994年): 1989年外科症例の後ろ向き登録 3,643例

第2次(1999年): 1994年外科症例の後ろ向き登録 7,408例

第3次(2002年): 2002年外科・内科症例の前向き登録 14,925例

第4次(2005年): 1999年外科症例の後ろ向き登録 13,310例

第5次(2010年): 2004年外科症例の後ろ向き登録 11,663例

## 今後の事業予定

第6次(2012年): 内科症例前向き登録

第7次(2016年): 2010年外科症例の後ろ向き登録



# 第7次全国肺癌登録事業

- 2010年肺癌外科治療例、2016年に実施
- 連結可能匿名化 後ろ向き調査
- 作業部会

岡見次郎	大阪府立成人病センター 呼吸器外科
伊藤宏之	神奈川県立がんセンター 呼吸器外科
渡辺俊一	国立がん研究センター 呼吸器外科
大塚 崇	慶應義塾大学 呼吸器外科
森 毅	熊本大学 呼吸器外科
豊岡伸一	岡山大学 呼吸器外科
澤端章好	大阪大学 呼吸器外科
横井香平	名古屋大学 呼吸器外科

# UICC Ver.8 に向けての登録項目(案)

## Anatomical factor

- 腫瘍サイズ Solid, GGO
- New classification of AD
- リンパ節転移個数
- 他

## Prognostic factor

- SUV max
- Biomarker
- 遺伝子変異
- 他

## 第7次全国肺癌登録事業タイムフレーム

	2013		2014		2015		2016	
登録表作成(案)								
登録表入力デモ								
登録表完成								
参加申し込み								
登録								
解析								
論文発表								

# 第7次登録事業：参加申し込み方法

- URL: <http://haigan-touroku.jp/>

肺癌登録合同委員会

HOME | 肺癌登録事業について | **参加申込はこちら** | 過去の調査報告 | リンク集 | お問い合わせ

日本肺癌学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器学会は協同して肺癌登録合同委員会を設け、日本での肺癌の発生や予後にかかわる因子を明らかにし、よって肺癌の予防、診断、治療の向上に寄与することを目的のため日本での肺癌症例の登録、解析の業務を行っております。

これまで、1994年、1999年に外科的切除した症例の後ろ向き調査、2002年に初回診断された肺癌症例で、内科・外科症例を含む登録をおこない、5年後の予後調査をいたしました。今回、5年ごとに行っている外科切除例の調査を2010年1月より行う予定であります。

ご多忙とは存じますが、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国肺癌登録合同委員会 委員長 藤井 義敬

**新着情報**

2009/6/15 2002年症例登録表のアップロードについて  
2002年症例登録表のアップロードを締め切りさせて頂きました。  
ご協力ありがとうございました。

**肺癌登録事業について**

**参加申込はこちら**

過去の調査報告

新TNM分類  
新リンパ節マップ

お問い合わせはこちら

Copyright haigantourouku goudou iinkai All Rights Reserved.

肺癌登録合同委員会

HOME

日本肺癌学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器学会は協同して肺癌登録合同委員会を設け、日本での肺癌の発生や予後にかかわる因子を明らかにし、よって肺癌の予防、診断、治療の向上に寄与することを目的のため日本での肺癌症例の登録、解析の業務を行っております。

これまで、1994年、1999年に外科的切除した症例の後ろ向き調査、2002年に初回診断された肺癌症例で、内科・外科症例を含む登録をおこない、5年後の予後調査をいたしました。今回、5年ごとに行っている外科切除例の調査を2010年1月より行う予定であります。

ご多忙とは存じますが、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国肺癌登録合同委員会 委員長 藤井 義敬

**施設情報登録ページ**

施設情報を入力して「次へ」ボタンをクリックしてください。

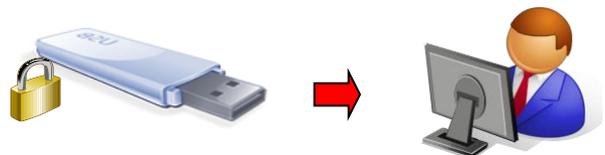
施設名称	テスト施設
診療科名称	テスト科
郵便番号	530-0041
住所	大阪府大阪市北区天神橋1-9-5
電話番号	06-4801-9555
FAX番号	06-4801-9556
担当者氏名1	テスト 太郎
担当者メール1	test-taro@test.com
担当者氏名2	
担当者メール2	
備考	

次へ 戻る

Copyright haigantourouku goudou iinkai All Rights Reserved.

# 症例登録の方法

## 1. USBをPCに差し込みセットアップ



## 2. ログイン画面に

- ・ユーザーID
- ・パスワードを入力

肺癌症例登録 ログイン

ユーザID・パスワードを入力して  
ログインボタンをクリックしてください。

ユーザID:

パスワード:

・ユーザーID、パスワードは  
郵送しお知らせいたします

## 3. 登録への入り口・対比表を表示

肺癌症例登録

登録済を印刷 全て印刷対象 印刷しない

登録	肺癌症例登録番号	カルテ番号	登録完了	調査票印刷
更新	00000001	K001	済	<input type="checkbox"/>
削除	00000003	K002	済	<input type="checkbox"/>
カルテ番号の修正	00000004	K003	済	<input type="checkbox"/>
対比表の印刷	00000005	K004	済	<input type="checkbox"/>
調査票の印刷	00000006	K005	済	<input type="checkbox"/>
担当者表示	00000007	K006	済	<input type="checkbox"/>

終了

### 4. 登録をクリックすると登録画面

肺癌症例登録 入力フォーム

2004年 肺癌症例登録

● 担当者  
担当者1: 山田 太郎  
担当者2:

● 基本情報 [非表示]  
登録No.: 00000008  
性別:  
生年月:  
初回記入日:  
最終更新日: 2009年9月9日  
手術年月:

● Ver.情報 [表示]

● メニュー

■ 基本情報

■ 術前併存症

■ cT因子

■ cNcM因子

■ 手術

■ 術後合併症

■ 組織分類

■ pT因子

■ pNpM因子

■ 術後補助化学療法

基本情報

記入年月日  
2009年9月9日

性別  
 男  女

生年月  
 明治  大正  昭和  平成  年  月

確定診断年月 \*検査または手術施行日をもって年月とする。  
 年  月

手術年月  
2004年  月

次へ



# 肺癌登録合同委員会 論文のテーマ

- わが国の治療成績およびその変化
  - ◆ Lung Cancer 2005;50:227 (第2次)
  - ◆ J Thorac Oncol 2008;3:46 (第4次)
  - ◆ J Thorac Oncol 2009;4:1364 (第1～4次)
  - ◆ J Thorac Oncol 2010;5:1369 (第3次)
  - ◆ J Thorac Oncol 2011;6:1229 (第5次)
- TNM分類の問題点の指摘と提言
  - ◆ J Thorac Cardiovasc Surg 2006;132:316 (T1)
  - ◆ J Thorac Oncol 2007;2:282 (PM)
  - ◆ J Thorac Oncol 2009;4:959 (VPI)
  - ◆ J Thorac Cardiovasc Surg 2012;144:431 (T3)
  - ◆ J Thorac Oncol 2013 in press (T4), (VPI)
- 予後因子および特定コホートの解析
  - ◆ J Thorac Oncol 2009;4:1247 (I期高齢者)
  - ◆ J Thorac Oncol 2010;5:1594 (性差)
  - ◆ J Thorac Oncol 2012;7:850 (cN2 / pN2)

# How should the TNM staging system for lung cancer be revised? A simulation based on the Japanese Lung Cancer Registry populations

Hisao Asamura, MD,<sup>a</sup> Tomoyuki Goya, MD,<sup>b</sup> Yoshihiko Koshiishi, MD,<sup>b</sup> Yasunori Sohara, MD,<sup>c</sup> Ryosuke Tsuchiya, MD,<sup>a</sup> and Etsuo Miyaoka, MD,<sup>d</sup> for The Japanese Joint Committee of Lung Cancer Registry

**提案: T1 (≤3.0cm) → T1a (≤2.0cm), T1b (2.1-3.0cm)**

結果:	5生率	p値
cT1aN0M0	77.5%	<0.001
cT1bN0M0	69.3%	
pT1aN0M0	83.7%	<0.001
pT1bN0M0	76.0%	

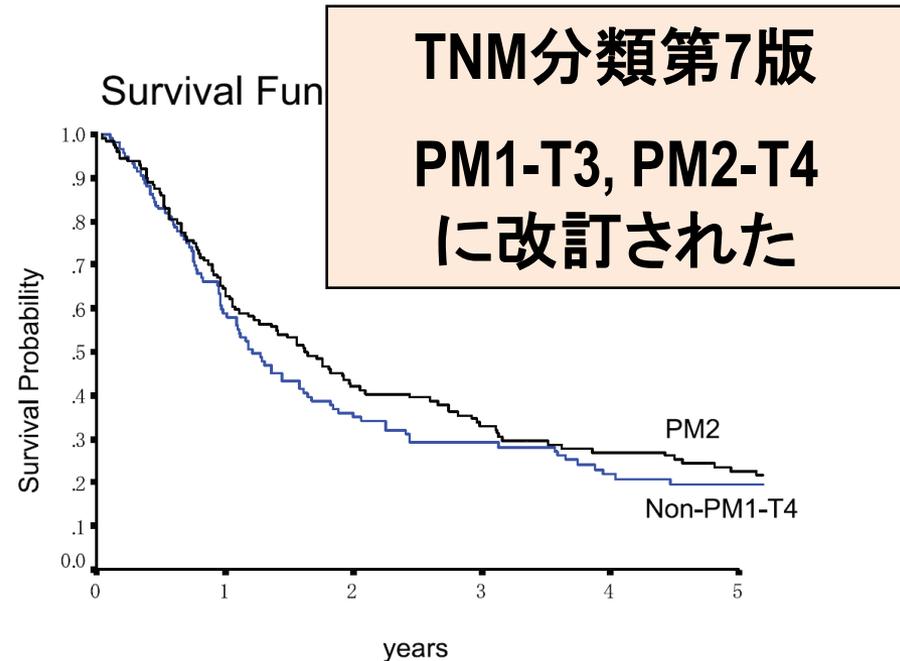
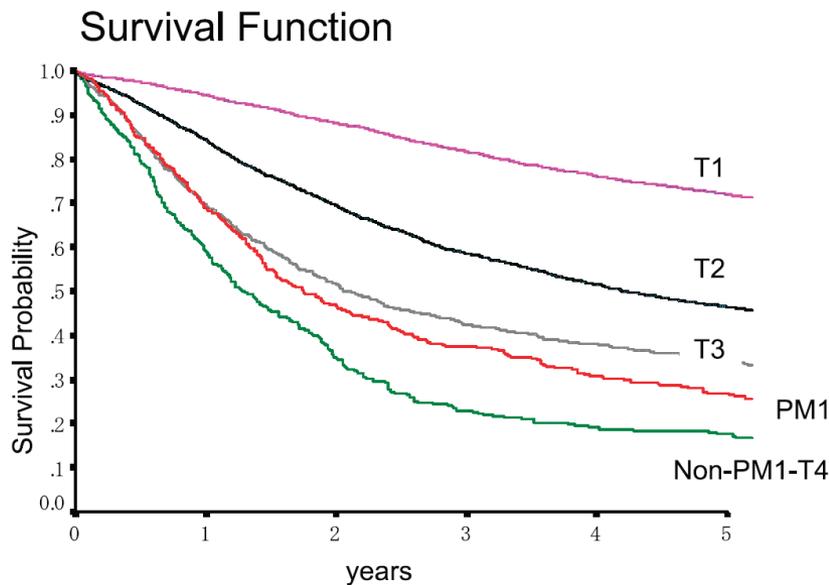


**TNM分類第7版**  
 径3cm以下の腫瘍が  
 T1aとT1bに分離された

# Prognosis of Resected Non-Small Cell Lung Cancer Patients with Intrapulmonary Metastases

*Kanji Nagai, MD,\* Yasunori Sohara, MD,† Ryosuke Tsuchiya, MD,‡ Tomoyuki Goya, MD,§ and Etsuo Miyaoka, PhD,|| for The Japan Lung Cancer Registration Committee*

**提案: PM1-T4, PM2-M1 → PM1-T3 < T4, PM2-T4**  
**結果:**



# 肺癌登録合同委員会

日本肺癌学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会は協同して肺癌登録合同委員会を設け、肺癌の発生や予後にかかわる因子を明らかにし、よって肺癌の予防、診断、治療の向上に寄与することを目的として日本での肺癌症例の登録、解析業務を行っております。

これまで、1989年、1994年、1999年、2004年に外科的切除をした症例の後ろ向き調査、および2002年に初回診療された肺癌症例で、内科・外科症例を含む登録を行い、それらの解析結果を報告してまいりました。この度は、2012年に初回診療される内科症例に対する調査を計画しております。

ご多忙とは存じますが、その節には皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

肺癌登録合同委員会 委員長 横井香平

## 新着情報

2013/04/15 副論文作成の“逐次募集”のお知らせ

肺癌登録合同委員会のデータベースを用いた副論文作成の“逐次募集”を開始しました。

詳しくは下記のリンクより資料をダウンロードしてください。

- ・[副論文 逐次募集について](#)
- ・[副論文 逐次募集用紙](#)
- ・[論文作製に関する資料](#)
- ・[第5次肺癌登録フォーマット](#)

2012/12/20 システムメンテナンスのお知らせ

システムメンテナンスのため下記時間帯、肺癌症例登録の参加申込、症例登録がご利用ができない時間帯が発生いたします。

実施日時:2012年12月27日 9:00 ~ 28日 21:00



肺癌登録事業について



参加申込はこちら



過去の調査報告



学会での委員会報告

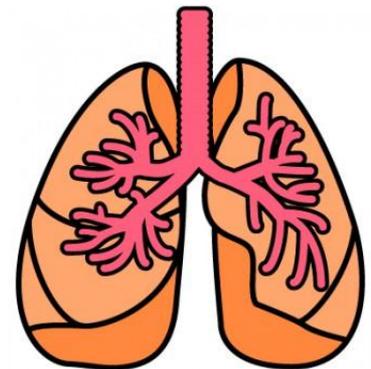


お問い合わせはこちら

<http://haigan-touroku.jp/>

# 目次

- 本邦の癌登録について
- 肺癌登録合同委員会の業務とその成果
- 全国肺癌登録事業と国際的病期分類とのか  
かわり





# TNM ver.7 2009

## Contribution of JAPAN



INTERNATIONAL ASSOCIATION  
FOR THE STUDY OF LUNG CANCER

### Staging Manual in Thoracic Oncology



Peter Goldstraw, FRCS, Executive Editor

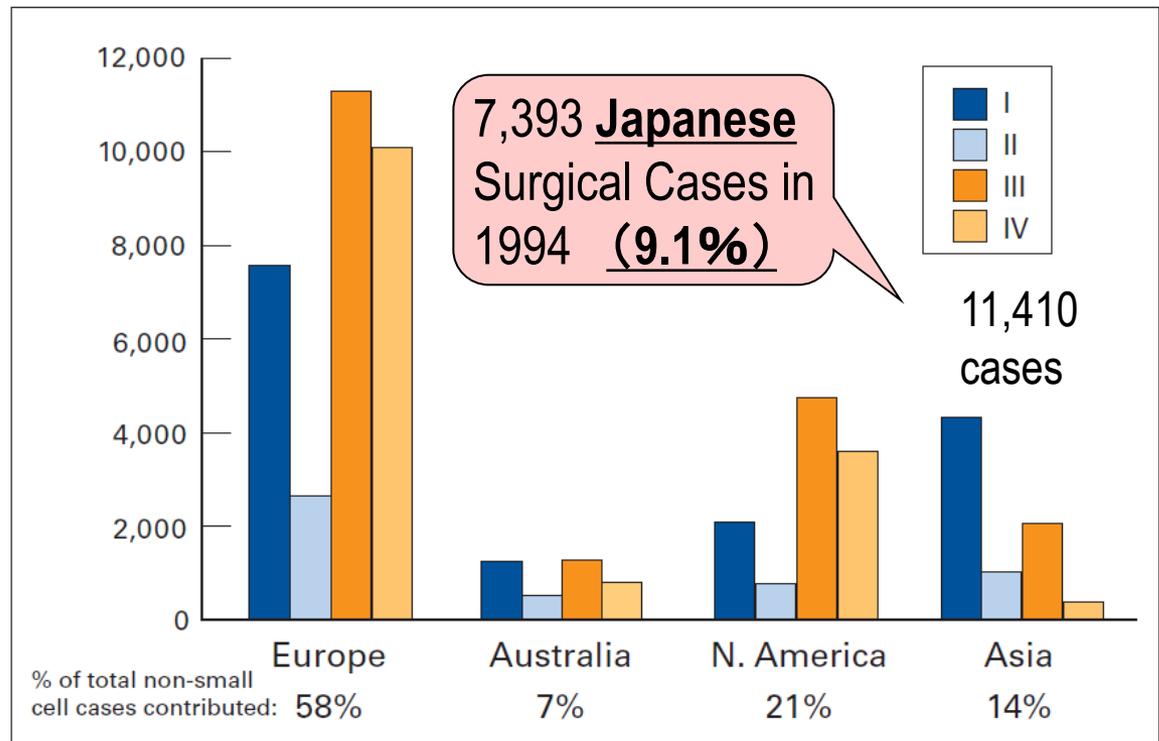
A Thoracic Oncology Reference Developed in Collaboration with the



International Union  
Against Cancer

American Joint Committee  
on Cancer

## 1999-2000, 81,495 cases (100,869 – 19,374)



# TNM 分類 ver.8 2016

## Staging Project の Time Table

- **2009-2010: prospective data correction**
- **2011-2012: data follow-up**
- **2013 : data analysis**
- **2014 : recommendation to UICC, AJCC**
- **2015 : publication in J Thorac Oncol**
- **2016 : publication by UICC, AJCC**

# TNM 分類 ver.8 2016への対応

- 第2次(1994) 7,408例
- 第3次(2002) 14,925例
- 第4次(1999) 13,310例
- 第5次(2004) 11,663例



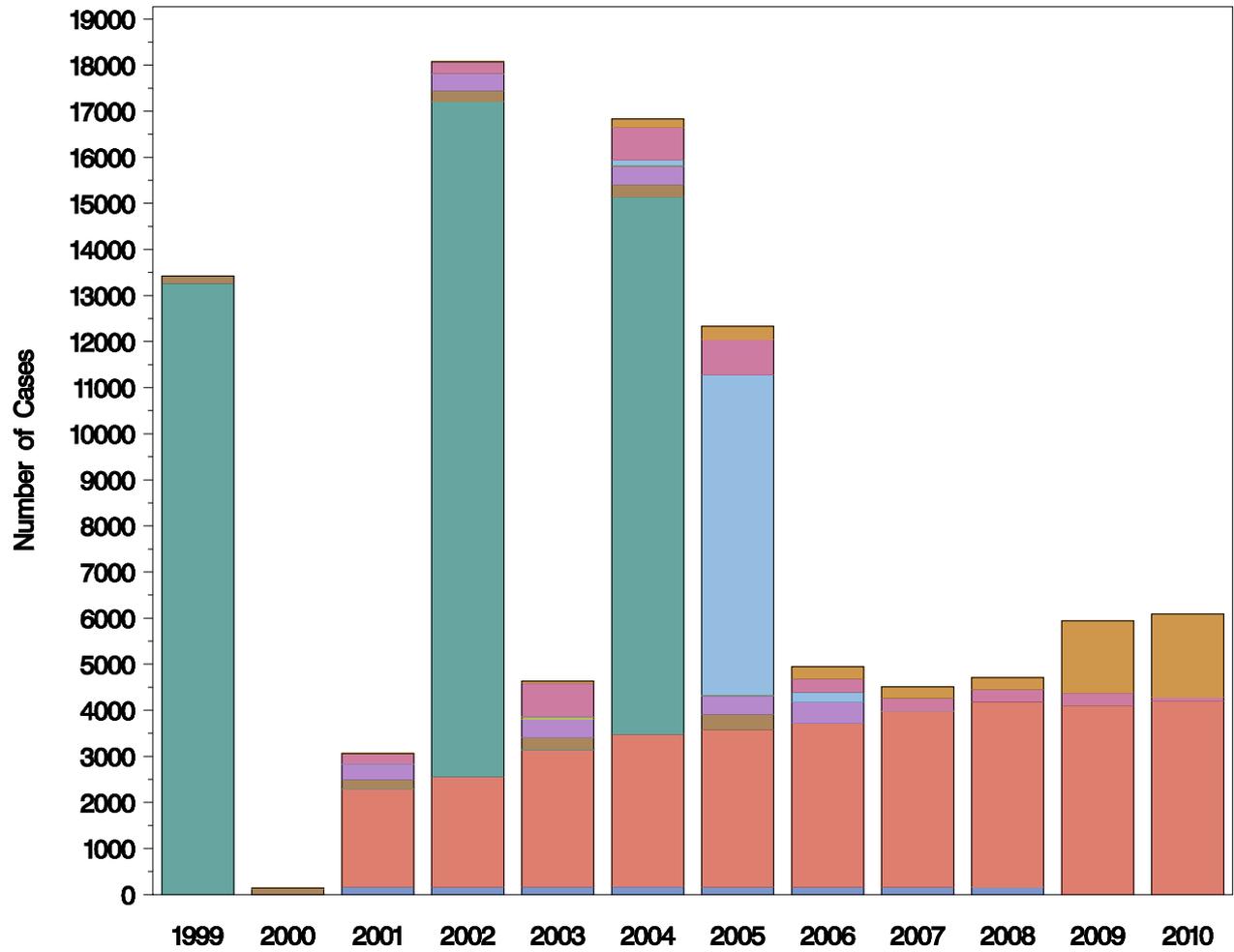
John Crowley, PhD

<http://www.crab.org/PersonnelJohn.asp>

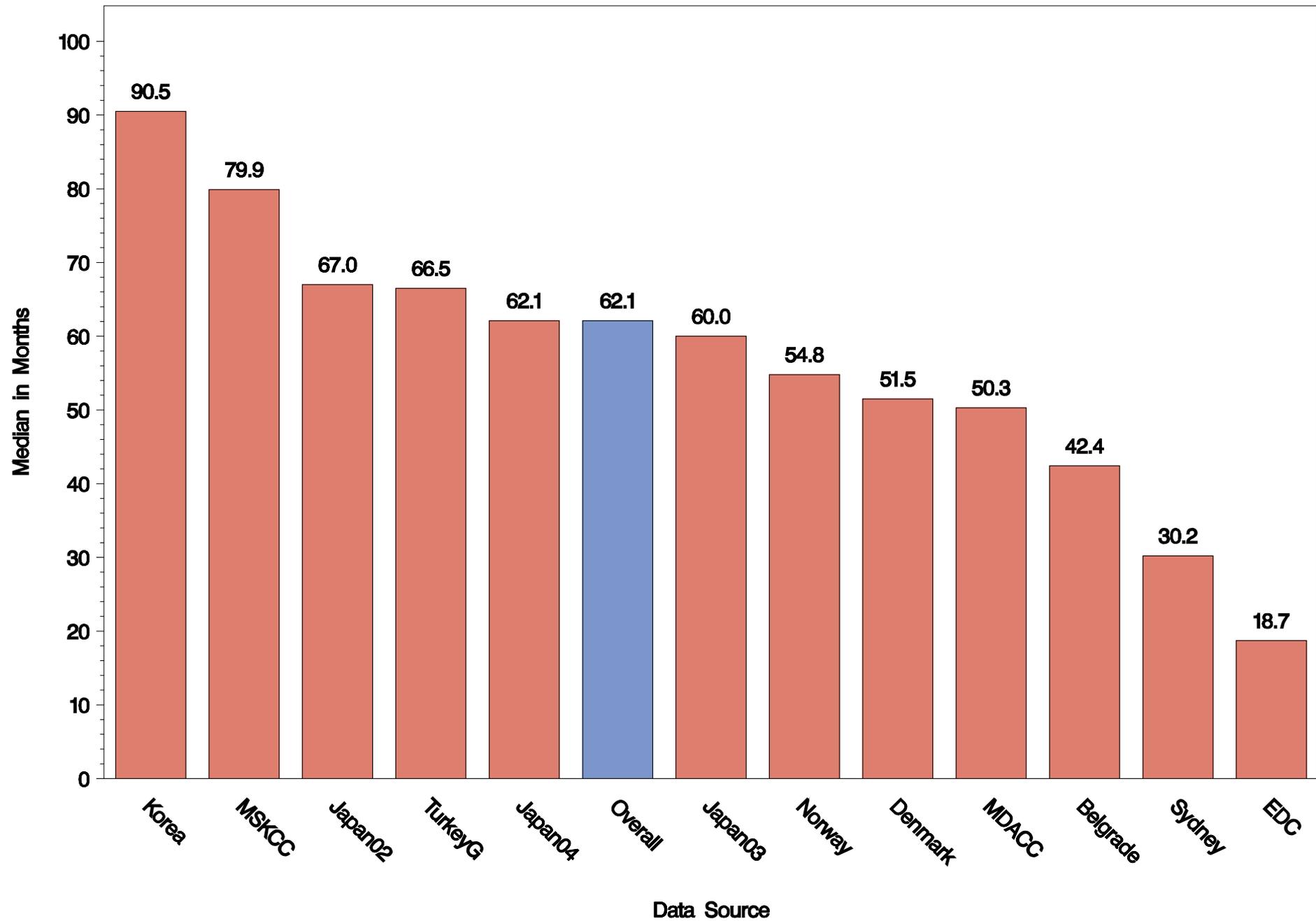
**47,306例の症例を提出済**

**(Newly retrospective の50.7%、全体の28.6%)**

# Cases Submitted by Year



# Median Follow-up by Data Source



# IASLC Staging Projectへ 症例データを提供する意義

1. 国際社会への貢献
2. 日本の発言力の強化
3. 日本の日常臨床の国際標準化

肺癌登録合同委員会事業に対し、  
今後ますますのご支援・ご協力を賜り  
ますようお願い申し上げますとともに、  
積極的なご参加もお願いする次第です

